

理事長のごあいさつ

ご 挨拶

和歌山地域経済研究機構
理事長 竹内 昭浩
[和歌山大学経済学部長]

和歌山地域研究機構も12年目を迎えました。これまで、本研究機構の活動は、和歌山商工会議所、和歌山社会経済研究所、和歌山大学経済学部の三者の協力によって行われてまいりましたが、今年、和歌山大学に新しい学部「観光学部」が設置されたのを受け、今後はこの新学部も加えた形で、機構を運営していくことになりました。ただ、これまでの経緯もあり、理事長は当面、経済学部長がその任に就くことになり、本年度は私が理事長を引き受けさせていただきました。また昨年度まで理事長を務めておられた山田良治教授は、観光学部に移籍されましたので、副理事長として理事会の中に留まり、これまで通りに機構の運営にご尽力いただく運びとなりました。

ところで、昨年末より、和歌山市中心市街地では、その再生に向けて新たな取り組みが進んでいます。その第一がイベントなどを中心にしたソフト型再生事業と言えるものです。例えば、和歌山城を活性化のモチーフとした城フェスタ事業であり、また、和歌山大学生によるオープンカフェ、着物フェスティバルなどのイベント事業、そして民間団体を軸としたよさこい祭等々です。第二としては、商業複合ビル「フォルテワジマ」のオープンをあげることができるでしょう。フォルテワジマは長年の懸案であった旧丸正百貨店の跡地利用の切り札として昨年12月から本格スタートしましたが、同ビルは単なる商業施設にとどまらず、文教機能も有しており、その一環として和歌山大学のサテライトオフィスも同ビル6階に、本年6月2日より稼働を開始しました。同施設では新設された観光学部を中心に、学部設置の狙いである地域活性化や幅広くまちづくりに関する事業なども行われて、さらに広く市民の学習の場として、また若者を中心とした文化情報発信の場として機能するのではないかと期待されます。

このような状況を踏まえつつ、和歌山地域研究機構は今後とも地域活性化のための研究、政策提言を行っていきたいと考えております。皆様の本機構へのご支援をよろしくお願い致します。